

9/13

土曜日

日朝平壤宣言23周年



朝鮮から見た これからの日朝関係と 米朝関係

開始 13:30 -

場所: 生協文化会館

4階 会議室1

地下鉄東山線本山駅4番出口
より南へ 徒歩2分



リ ビョンフイ

李柄輝さん

プロフィール

1972年生まれ。朝鮮大学校朝鮮問題研究センター副センター長・現代朝鮮研究室室長。専門は朝鮮現代史。

主な著書に「朝鮮半島核危機の内在的理解と展望」『情況 第四期』7巻1号、2018年1月) 共著に山口剛史編著『平和と共生をめざす東アジア共通教材—歴史教科書・アジア共同体・平和的共存』(明石書店、2016年) 建国大学校人文学研究院編『疎通・治癒・統合の統一人文学』(図書出版先人:ソウル、2009年)



ZOOM同時開催です。
ZOOMのお申し込みは
以下のQRコードから



今年は、戦後80年・日韓条約60年です。台湾・朝鮮を植民地支配し、アジアで2000万人もの犠牲者を出した反省からスタートしたはずの日本は今、「中国脅威」などを理由に軍備を増強しています。日韓条約は、日本の植民地支配の加害責任を一切無視し、反省も賠償もなく締結されました。そして、朝鮮民主主義人民共和国とは2002年に日朝平壤宣言で国交正常化を目指しましたが、一向に進んでいません。韓国では李在明大統領が就任し、アメリカはトランプ大統領が返咲きました。政治の激変の中で、改めて日朝関係や米朝関係が今後どのように進展していくか、日朝国交回復の道筋などもお話していただきます。ご参加ください。

参加費: 一般800円 (学生無料)

連絡先: 中村区那古野1の 44 の 17

主催「韓国併合」100年東海行動実行委員会

嶋田ビル2F

協賛: 日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会

E メール 31demol919@gmail.com